

「キュリー夫人 / マリー・キュリー」

なぜマリー・キュリー / キュリー夫人の本を選んだかと言うと、だからです。

ポーランドで生まれのマリーは、自分の国であるポーランド語やポーランドの歴史を学ぶことができません。

もし私なら、日本語や日本の歴史を学ぶことを禁じられたら、

だと思いました。

私も【あたりまえにできるはずのことができなかった / 禁止された体験】①状況の説明：いつ・どこで・

だれが / だれに ②行動：きっかけ / 理由・何を・どうした・どのように / どのくらい・なぜ / どうして

③状況 / 心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか ということがありました。

そのこと / 体験から、(あたりまえにできることに感謝 / 禁止されるとつらい / おさえつけられるとイラッとする)

だと思いました / という気持ちわかります。

マリーは女性が勉強することや大学に行くことがめずらしい時代に、家族のために家庭教師として働き、

パリの大学に行きました。私は大学に行くためや家族のために働くなんて、

だと思いました。

研究でポロニウム、ラジウムを発見し、ノーベル賞を受賞しました。その後、金属ラジウムも発見し、

もう1度ノーベル賞をもらいます。1度とるのだって大変なノーベル賞を2度ももらうなんて、

だと思いました。

男性の研究者でもできないことを、女性のマリーがしたのだから、

だと思いました。

マリーの発見のおかげでたくさんの便利なものができました。医療では放射線でレントゲンやCTスキャンで

身体の状態を調べることができ。農業では品種改良や害虫駆除をし、ものをこわさずに内部の検査をすることも

できます。もしこれらがなければ、

だと思いました。

とくに、

はずばらしい発見だと思います。

この本を読んで、マリー・キュリー / キュリー夫人について一番感度した / 記憶に残った / みんなに

教えたいことは、

です。

なぜなら、

だからです。

これからは、マリーのように

という気持ちを持ちたい / したい / なりたい / 考えたいと思いました。